

大会行事のご案内

本大会は、ポスター発表に加え、基調講演、招待講演、大会委員会企画シンポジウム、学会委員会関連企画シンポジウム、日本発達心理学会関連企画シンポジウム、他学会との共催シンポジウム、会員企画の自主シンポジウムとラウンドテーブル、および会員集会・表彰式から構成されています。

大会参加者は、必ず一度受付に立ち寄り、バーコードでの情報入力にご協力ください。また、大会参加証はすべての会場の入口で確認しますので、会場に入る際はスタッフに提示してください。携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定してください。

1. ポスター発表

百周年時計台記念館2階にて、ポスター形式による研究発表を行います。ポスター発表は、割り当てられた時間中にポスターを掲示し、かつ在席責任時間の間、質疑に応じることで正式発表とみなされます。なお在席責任時間中に出欠の点呼を行います。今年では会場運営の関係から、ポスター発表には7つのセッションがあり、それぞれが講演、シンポジウム、ラウンドテーブルなどと同時並行で行われます。皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(1) 研究発表の登録

ポスター発表会場の発表者受付にて、発表者登録をお願いします。このとき、発表者用リボンをお渡しします。ポスター発表終了後、発表者用リボンと画鋏を返却してください。

(2) ポスター掲示要領

ポスター掲示用パネルには発表番号が付いています。各セッション15分前までに、持参したポスターを自分の発表番号が付いたパネルに掲示してください。パネルの大きさは、横90cm×縦210cmです。ポスター掲示範囲は、横90cm×縦180cm以内が適当です。ポスターの最上部には、題目（字の大きさはおよそ72ポイント）、氏名（およそ48ポイント）、所属（およそ36ポイント）を明示してください。本文（およそ48ポイント）を全紙、または何枚かに分けて色台紙に貼るなどの方法で掲示してください。

(3) 掲示可能時間、在席責任時間

ポスター掲示可能時間	第1日目	21日（金）	P1	10時00分～12時00分
			P2	13時00分～15時00分
			P3	15時30分～17時30分
	第2日目	22日（土）	P4	9時30分～11時30分
			P5	13時30分～15時30分
			P6	16時00分～18時00分
	第3日目	23日（日）	P7	10時00分～12時00分

在席責任時間 奇数番号 前半1時間のうち、はじめの50分

偶数番号 後半1時間のうち、はじめの50分

※ポスターはセッション終了後直ちに撤去してください。セッション終了後20分を過ぎても撤去されない場合には大会委員会スタッフが撤去することがあります。ポスターは各自で責任を持ってお持ち帰りください。

2. 大会委員会企画講演

(1) 基調講演：子安増生先生

3月22日（土）13:30～15:30

認知発達研究の過去・現在・未来 —子どもは省略の天才である—

……………時計台大ホール

(2) 招待講演：

I：Alison Gopnik 先生

3月22日（土）16:00～18:00

大人よりも子どもが良き理論家であるとき —理論構成・因果モデル・学習の進化—

……………時計台大ホール

II：Fei Xu 先生

3月23日（日）10:00～12:00

合理的構成主義的な認知発達に向かって

……………時計台大ホール

(3) 英国心理学会発達部門との交流提携による招待講演：Andrew J. Bremner 先生

3月21日（金）15:30～17:30

発達早期における多感覚環境 —乳幼児は身体と外界の多感覚表象をいかにして構築するか—

……………時計台大ホール

(4) 大会委員会企画シンポジウム：

3月21日（金）13:00～15:00

思考の生涯発達 —幸せな人生とよりよい社会を目指して—

……………共北 31

3月22日（土）9:30～11:30

新たな「発達の学」を目指して

……………時計台大ホール

3月23日（日）13:00～15:00

海外と比較可能な日本の青年期アイデンティティ発達の理解をめざして

……………共北 28

3. 日本発達心理学会関連企画シンポジウム

I. 一般公開シンポジウム

3月21日（金）10:00～12:00

日本学術会議・発達心理学分科会企画公開シンポジウム

早期教育の光と影 —英語早期教育は是か非か？—

……………時計台大ホール

3月21日（金）13:00～15:00

日本発達心理学会・日本臨床発達心理士会・日本心理研修センター共催公開シンポジウム

心理職の国家資格化に向けての展望と課題（Ⅱ）—「生物・心理・社会文化モデル」の理論と実践—

……………時計台大ホール

3月23日(日) 13:00~15:30
発達心理学の未来 一次世代との対話—
……………時計台大ホール

II. シンポジウム

3月21日(金) 10:00~12:00
日本発達心理学会・日本保育学会・日本乳幼児教育学会共催シンポジウム
保育の中で生きるアセスメントとは II —アセスメントから支援へのつながり—
……………共南 11

3月21日(金) 13:00~15:00
日本発達心理学会・日本赤ちゃん学会共催シンポジウム
発達過程の計算モデル —記号創発アプローチの視点から—
……………共北 32

3月21日(金) 15:30~17:30
日本発達心理学会・日本動物心学会共催シンポジウム
社会行動の発達を司る脳の働き・ホルモンの働き —行動神経内分泌研究の最前線—
……………共北 28

3月22日(土) 13:30~15:30
日本発達心理学会・日本質的心理学会合同シンポジウム
質的研究法の発達心理学へのインパクト —APAの最先端から—
……………共北 32

3月22日(土) 13:30~15:30
日本臨床発達心理士会シンポジウム
保育を通しての家族支援 V —支援の実際と連携—
……………共南 11

3月22日(土) 16:00~18:00
出版企画委員会企画シンポジウム
隣接領域の統合と発達科学を目指して —発達心理学の理論・方法の検討—
……………共北 32

3月22日(土) 16:00~18:00
編集委員会企画シンポジウム
『発達心理学研究』をもっとおもしろくするには?
……………共北 37

3月23日(日) 13:00~15:00
国内研究交流委員会企画シンポジウム
文化間葛藤の場としての保育
……………共南 11

4. 会員企画

(1) 自主シンポジウム

3日間をとおして、27件のシンポジウムが行われます。時間に合わせ、司会者が進行してください。
各シンポジウム会場には、会場スタッフを1人配置しています。

(2) ラウンドテーブル

3日間をとおして、47件のラウンドテーブルが行われます。司会者もしくはファシリテーターが進行役となり、議論を進めてください。各会場にスタッフはつきませんが、各階には数名のスタッフが常駐しています。

※会員企画シンポジウムとラウンドテーブルの会場には、液晶プロジェクターとスクリーンが用意されています。

※パソコンは用意していません。企画者が責任を持って用意してください。また、機器の調整は必ず事前をお願いします。なお、会場ではノートパソコンとプロジェクターとの接続ケーブルの仕様がD-Sub15ピンですので、Mac使用者は必要なアダプターをご持参ください。

5. 「ヒューマノイドロボット」と過ごす夕べ

3月21日（金）18時～19時に、時計台記念館1階にて大阪大学大学院基礎工学研究科・石黒浩教授のご厚意により、「テレノイド（通信ロボット）との交流」の場を企画しています。参加費は無料です。

6. 「生まれ変わる動物園」京都市動物園ツアー

京都市動物園は、2008年に京都大学野生動物研究センターと連携協定を結び、2013年度に研究・教育のための「生き物・学び・研究センター」を新たに設立したユニークな動物園です。さまざまな動物を対象とした心のはたらきについての研究を、研究者自身が現場にて紹介するツアーを企画します。詳細は、大会ホームページをご覧ください。

7. 会員集会・表彰式

大会2日目の3月22日（土）、12時00分より、百周年時計台記念館大ホールにて開催します。多くの会員の出席をお願いいたします。

8. 大会についてのお問い合わせ先

大会についてのお問い合わせや連絡は、下記E-mailもしくはFAXで大会委員会にお問い合わせください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科 心理学教室内
一般社団法人 日本発達心理学会 第25回大会委員会
E-mail : fukui.hiroe.6s@kyoto-u.ac.jp
FAX : 075-753-2741

大会期間中

京都大学百周年時計台記念館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 E-mail : hattatsushin2014@gmail.com